

して愛兒の健康を其害せられざるの以前に保持するに努むべきなり

新刊紹介

●「家庭及教育」 全一冊 日本濟美會編

年と共に現はれたる一大著述は家庭及教育とす、

一千二百餘頁に亘る龐然たる菊版の大冊にして躰

裁及製本の美にして且堅牢なると紙質の良好なる

とは出版界近來の珍たる可く發行店主が損失を顧

みざる勇氣は確に認むることを得可し殊に挿畫の

多きは家庭に關する著述としては最も適當なるも

のと云ふことを得、今其内容を通覽するに第一篇

に於ては家庭及教育を總論し第二篇には身体及其

育成第三篇には精神及其養成第四篇には德育及美

育第五篇には精神的病弊及其矯正を論じ殆ど家

庭及教育に關する問題を網羅し盡したり然れど今仔細に其論ずる所を味ひもて行けば未だ俄に高論

卓説と稱するを得ざるが如し否却つて吾人をして

無遠慮に云はしめば單に倫理心理衛生教育等に關

する世の平凡なる諸説を編纂集輯したるに過ぎざ

るものと云ふことを得故に本書の價値は之を約言

すれば只其字彙的なるにありと云ふ可なり、察す

るに編者の意も亦然りしには非らざるか若し果し

て然らば徒に文字を大にし紙數を増加して五圓五

拾錢の高價を拂はしむるは、多少好事の譏を免れ

ざる可し。發行所は京橋區二丁目東海堂

●「田園婦人」 毎月一回廿五日發行

婦人世界に田園趣味及農藝上の智識を普及せんと

て興れるものにて趣味ある業をば平民的に眞實に

説きたれば頗る面白く讀まれたり殊に「羊をお買

ひなさい、「正月花の作り方」等は一入興味あるものなりき。發行所は東京市牛込區東五軒町四十一番地婦人農藝會定價は郵税共一冊金叁錢

●礦物界の現象 全二冊 安東伊三次郎著 光風館發行

前に生物界の現象 著はして非常の喝采を博せられた著者安東君は更に表題の書物を著述せられたといふので、先日一部を惠まれた。元來余は此學の方面に多少の興味を有つて、機あらばせめて其門戸を窺つて見たいとは思つて居るのであるが、悲しいかな夫すら出来ないで、全く門外漢であるから、折角の好意に對し専門的に批評などするとは如何しても出来ないのである。

で、多少でも興味をもつてゐるまゝに一部を乞ひ得て讀過した。そして思つた、一體吾々人間は礦物界の中に生息して居りながら、而もこれまで礦物

學といつたら、まことに無味乾燥の様に思つて居る人が多い様だが、かゝる人は此書物に由つて其謬見を全く排除することが出来よう。余は先づ第一に、科學者としての安東君が、從來無味乾燥なりと思はれて居たこの礦物界のことを記述するに極めて流麗な文章を以てせられた文才に敬服せねばならぬ。そして其内容であるが、前篇には我國の礦物界を記し、後篇には世界の主要礦産を記し、其種類、用途、簡易識別法、面白い礦物界の現象等々の例の文章で面白く然も明瞭懇篤に指示せられて居る、次には挿繪である、鮮明なる寫眞に美麗なる木版數知れぬ程惜氣もなく挿入せられて、其上産地や何かを指示する爲に、諸所に地圖を挿入せられたのは用意周到謝するの他なし、全文五號活字所々に六號活字を以て詳細なる説明を與へ、

且つ簡單なる注意事項や、表の如きは本文中別に美的に排列して居る、紙数は二巻併せて三百頁に餘り巻末に索引を附して居る、定價は一部二巻にて一圓七十錢、斯學専門の教師は勿論参考書として缺くべからざる良書であるが、小學校に従事せらるゝ人、夫でなくとも多少でも此礦物といふもの、何たるかを知つて見たいといふ人には、唯一の良書だといふことが出来る。(熊泉)

會報

明治卅九年二月入會者

- 本所區外手町九一開發幼稚園 大田 よれ
- 兵庫縣川邊郡東谷村下財 平安新一郎
- 本郷區金助町五 中川 きくえ
- 本郷區湯島一丁目十一番地 小菅 もと
- 赤坂區青山青木町一二齋藤方 杉本 そとえ
- 清國上海日本郵船會社支店 伊藤 美代子

新潟縣北蒲原郡葛塚町大字葛塚三三二
愛知縣名古屋武平町二丁目
會費領收 自明治卅九年二月二十日 至全 二月廿四日

金額	年	月	日	姓名
一〇〇	三	八	六	野崎 秀
二〇〇	三	七	六	松尾 つれ
六〇	三	九	一	海寶 ちばを
五〇	三	八	七	八田 さだ
七〇	三	八	七	土方 鉞太郎
五〇	三	八	一〇	近澤 岩吉
五〇	三	九	二	西浦 りつ
六〇	三	八	七	高木 萬壽
一〇〇	三	八	一	野原 つれ
一〇〇	三	八	一	小林 ふぢ
一〇〇	三	七	二	松浦 かめよ
五〇	三	八	二	馬場 虎
五〇	三	八	八	室田 美津
六〇	三	八	六	南枝 ちよの
一〇〇	三	八	九	増澤 なみ
二二〇	三	八	三	和知 てる
二二〇	三	七	三	戸上 初瀬
二二〇	三	七	四	村田 きぬ
二〇〇	三	七	五	平野 蝶